

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1. 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			一人当たり十分なスペースを確保している。 また活動に応じて児童が課題に向かいやすいように工夫している。
	2. 職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			少人数からマンツーマンまで児童の特性に合わせて対応できる配置になっている。
	3. 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			くるま椅子を購入し、歩行不可能になった児童にも対応できるようになった。
業務改善	4. 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>			より業務改善が適切に図れるために、多くの職員が関わられるよう工夫していきたい。
	5. 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、それを業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	6. 当自己評価表を事業所の会報やウェブサイト等で公開しているか。	<input type="radio"/>			弊社のホームページにて掲載中。
	7. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			<input type="radio"/>	
適切な 支援の 提供	8. 職員の資質向上を図るため、研修の機会を確保しているか。	<input type="radio"/>			法人内、他団体主催の研修などに積極的に参加している。
	9. アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析。そのうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	10. 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	<input type="radio"/>			
	11. 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			
	12. 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>			
	13. 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	<input type="radio"/>			
	14. 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	15. 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	<input type="radio"/>			
	16. 支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>			メインとサブが事前に打ち合わせをし、振り返るようにしている。
	17. 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>			毎日、支援の記録を保存し、振り返りを行っている。
	18. 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービスけいかくの見直しの必要性を判断しているか。	<input type="radio"/>			
19. ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	20. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○			
	21. 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	22. 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。				
	23. 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。			○	
	24. 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。		○		現在まで該当者なし。
	25. 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○			
	26. 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	○			
	27. (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		○		
	28. 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共有理解を持っているか。	○			
29. 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	○			日々の様子を共有する中で、保護者の悩みなどに寄り添い、理解に努めている。必要に応じて助言を行っている。	
保護者への説明責任等	30. 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	31. 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32. 父母の会の活動を支援したり、保護者会を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。			○	保護者のニーズを確認した上で、実施に向けた検討を行う。
	33. 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知。苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34. 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	35. 個人情報に十分注意しているか。	○			プライバシーマーク取得済み。
	36. 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	37. 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。			○	方法を精査し、検討していく。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の 対応	38. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	○			
	39. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	○			火災、地震、洪水などを想定して訓練を実施している。
	40. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	41. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			組織的にやむを得ず身体拘束を行う場合を決定し、共有している。
	42. 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。		○		食物アレルギーのある児童の利用なし。
	43. ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○			